

鴨川市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時 平成21年12月25日(金) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時55分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 佐々木久之
(4) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 増田 勝己
(4) 熊切 隆夫 (5) 久根崎素弘 (6) 山田 一郎
(7) 渡邊 弘仁

5 委員報告

- ・佐々木委員から、インフルエンザの予防接種を以前のように各学校で実施してほしいとの保護者の意見があること、少子化や共働き等の状況下でPTA役員の選出が難航するケースが生じていることについて報告がなされた。
- ・佐久間委員から、ボランティア活動で長狭学園を訪れた際に子どもたちが気持ちのよい挨拶をしてくれたこと、長狭学園のPTA役員から「PTAの役員をしているので学校の様子がよくわかり、広い視野から学校を見ることができるようになった」との話を聞いたこと、江見中の南房総教育事務所指導室計画訪問では生徒が落ち着いて学習に取り組んでいたこと、全日本アマチュアボクシング選手権大会の開会式前に行われた幼稚園児によるダンスが好評であったことについて報告がなされた。
- ・村上委員から、船形小学校の体育公開研修会では子どもたちがグラウンドを思い切り走り回っているなど活発な活動が見られたとの報告がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、佐々木委員から報告のあったPTA役員の選出に難航することに関して、地域諸団体の役員等の選出と同様に他人任せの傾向があり、今後このような事態を改善する方策について論議していく必要があること、全日本アマチュアボクシング選手権大会は市職員や関係者の努力によりスムーズに運営することができ、その手法は来年の国民体育大会に生かせるものであったとの報告がなされた。
- ・また、12月4日に開会した第4回市議会定例会では、鈴木美一議員から長狭地区遊休施設の利用、総合運動施設の利用状況とロッテマリーンズの春季キャンプ誘致、佐藤拓郎議員からは学校校庭の芝生化、庄司朋代議員と平松健治議員からは鴨川中

学校跡地の利用に関する質問がそれぞれあったとの報告がなされた。さらに、本定例会に教育委員会から提出した「江見中学校及び鴨川中学校を廃止し、新たに鴨川中学校を設置すること」に関する議案については、全員賛成で可決されたとの報告がなされた。

- ・その他、長谷川教育長から長狭高校の開かれた学校づくり委員会に出席したことに関連して、特色ある学校づくりに努力している長狭高校を積極的に支援していきたいとの発言があった。
- ・山田スポーツ振興課長から、アマチュアが参加する最高峰の大会と位置づけられている全日本アマチュアボクシング選手権大会が約100名の選手・競技役員が参加して開催され、地元出身の戸部選手が3位に入賞したこと、市内外から多くの観戦者が会場を訪れ盛況であったことについて報告がなされた。
- ・久根崎生涯学習課長から、11月は生涯学習課関連の行事が多く開催されたが、その一つである早稲田大学円城寺守教授による講演会「鴨川市の枕状溶岩が語るもの」では多くの参加者から積極的に質問が出されるなど関心の高さが伺えたこと等について報告がなされた。
- ・福田教育次長から、インフルエンザの流行に関して、2学期末までに市内幼稚園、小中学校で約46%の学級が臨時休業を実施したほか、約33%の園児児童生徒がインフルエンザに感染したとの報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・村上委員から、インフルエンザによる臨時休業への対応についての質問があり、福田教育次長より臨時休業を実施した学級では、学校・学級の実情にあわせて平日の放課後、始業式・終業式の午後、冬季休業日に補習等を行うなどの対策を講じているとの説明がなされた。
- ・佐久間委員から、長谷川昂氏宅訪問に関する質問があり、長谷川教育長より今年度教育委員会から刊行する「子どものため郷土史読本・ふるさと鴨川」の同氏に関する記述内容に関して、直接原稿を確認していただくための訪問であったとの説明がなされた。
- ・その他に質疑はなく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について」

- ・熊切学校給食センター所長から、平成22年4月より給食費月額を、幼稚園 3,700

円を 4,200 円に、小学校 3,800 円を 4,300 円、中学校 4,300 円を 4,900 円にそれぞれ改めることを内容した規則の一部改正について、資料を基に説明がなされた。

- ・村上委員から、前回の改正の時期に関する質問があり、熊切学校給食センター所長より市町合併に伴い、平成 17 年 4 月に旧天津小湊町の給食費を値下げし、旧鴨川市と同額としたこと、旧鴨川市は平成 15 年 4 月に値上げをした経緯があるとの説明がなされた。
- ・佐久間委員から、給食費を払う子どもが 4 人いると毎月約 2000 円の出費増となるなど、保護者に経済的な負担をかけることになるが、食材価格の値上がりや食材の安全確保等を考えるとやむを得ないとの意見が出された。
- ・議案第 1 号については、その他に質疑なく、全会一致で可決された。

8 その他

(1) 渡邊指導主事から、平成 22 年度全国学力・学習状況調査における質問紙調査結果に関して、全国の傾向との比較をもとに本市小中学校の「良好と思われる点」と「課題となる点」について、資料を基に報告がなされた。

- ・村上委員から、質問紙調査の詳細な分析は本市の教育上の課題把握に有効であるとの意見が出された。
- ・佐々木委員から、全国学力・学習状況調査の結果を保護者にどのように伝えているのかとの質問があり、渡邊指導主事より各児童生徒の学力の状況については保護者に直接伝え、質問紙調査の結果については重要と考えられる内容を学校便り等で報告しているとの説明がなされた。
- ・佐久間委員から、「自分にはよいところがある」と思う生徒が本市は少ないことに関して、自分のよさを言える教育を進める必要があるとの意見が出された。
- ・長谷川教育長から、「早く起床する子は学力が高い」など、質問紙調査と学力の相関関係を分析していくことが大切であるとの意見が出された。
- ・村上委員から、個々の児童生徒、学級の様子を把握するには、抽出児童生徒だけでなく全員参加で調査を実施することが望ましいとの意見が出された。
- ・佐々木委員から、保護者が子どもに携帯電話を持たせるかどうかを判断する際の判断材料として、携帯電話を持っていない児童生徒の方が高学力であること、持たせる場合は家庭で約束事を決めることが望ましいことについて、保護者に伝える必要があるとの意見が出された。
- ・佐久間委員から、携帯電話を事情により小学生に持たせる場合は子ども部屋には持ち込ませないといった約束をしている家庭があり、それぞれの家庭の実情に応じた

対策が必要であるとの意見が出された。

(2) 各課長から、「1月の教育委員会行事予定」について資料を基に説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、1月の定例教育委員会会議について説明がなされ、1月19日（火）午後3時30分から天津小湊支所で開催することになった。

・村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成22年1月19日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白